



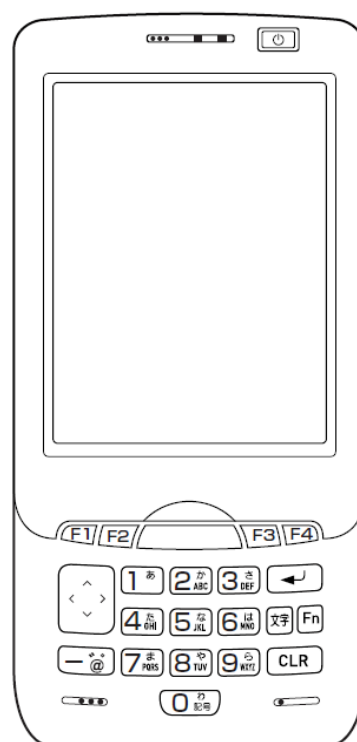
CASSIOPEIA DT-5300

Windows Mobile Classic

ServicePack Ver.1.02 インストールマニュアル

概要説明

DT-5300(Windows Mobile Classic)用のサービスパックの内容、インストール方法を記載しています。



Ver1.03

ご注意

- このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。
- このマニュアルの著作権はカシオ計算機株式会社に帰属します。
- 本書中に含まれている画面表示は、実際の画面とは若干異なる場合があります。予めご了承ください。

© 2011 カシオ計算機株式会社

Microsoft, MS, ActiveSync, Active Desktop, Outlook, Windows, Windows NT, および Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Microsoft 社の製品は、OEM 各社に、Microsoft Corporation の 100%出資子会社である Microsoft Licensing, Inc.によりライセンス供与されています。

變更履歷

[illegible]

目次

1. はじめに	1
2. 対応内容	2
3. インストールについて	5
3-1. データの入手	5
3-2. インストール方法	6
3-3. インストールの実行	7
3-4. インストールの確認	7
4. インストール時の注意	8
5. ご注意	9

1. はじめに

このプログラムは DT-5300 (Windows Mobile Classic) の以下のモデルでのみご使用になれます。
DT-5300 の他のモデルや他機種では使用しないでください。

<<対象機種、モデル>>

●DT-5300M30S, M30SC, L30S, L30SC

提供ファイル

- **ServicePackDT5300WMCLJ.102.CAB** … サービスパックのインストーラです。
- **Setup.exe** … CAB ファイル自動実行用モジュールです。
- **DeleteCab.ini** … 不要なモジュールを削除する為の設定ファイルです。

弊社において各種評価・エージングテストを行っておりますが、ご使用の際は、十分なテストを行った上、ご利用頂けますようお願い致します。

<注意①！>

本サービスパックは、**FROM** にインストールされるため、電池切れで初期化されることはありませんが、フルリセット操作などで誤ってサービスパックを削除した場合に備えて、インストール後、バックアップを取ることもしくは自動復旧の設定を行ってください。

“スタート”→“バックアップツール”

にてバックアップを実行できます。

又、アプリケーションインストール後、

“Program Files\CASIO\System\Restore.exe”

を実行する事でバックアップの実行⇒自動復旧の設定が行われます。

<注意②！>

CAB ファイルは、コピー方法によっては属性の “読み取り専用” が外れる可能性があります。

“読み取り専用” の属性が外れていると、インストール後 CAB ファイルは削除されてしまいます。

必ず **FlashDisk** にコピーした後で、“読み取り専用” の属性になっている事を確認の上ご使用ください。

“読み取り専用” になっていれば、インストール後 CAB データが消える事はないので
アンインストールなどで初期化した後でも再度インストールが可能となります。

2. 対応内容

サービスパック Ver. 1.02 による対応内容

分類	対応内容	Ver.
カメラライブラリパッチ 1.08	<ul style="list-style-type: none"> ・ プログラム実行用のメモリが不足した時、静止画撮影できない場合がある問題に対応 ・ VBからの CAMOpen 関数がエラーとなることに対する対応 ・ 動画撮影後の静止画撮影にてファイル容量エラーになる場合がある問題に対応 ・ LED が動作しない場合がある問題に対する対応 ・ CAMWaitForVideoEncode 関数の INFINITE 指定が出来ないことに対する対応 ・ 長時間動画撮影(およそ 30 分以上)を実施した場合、動画のエンコードの進捗状況が 99%のまま更新されない問題に対応 	1.02
	<ul style="list-style-type: none"> ・ CAMSingleCaptureEX 関数でメモリを開放しない不具合の対応 	1.03
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横長のプレビュー・静止画撮影の対応 ・ 高負荷時にフラッシュ撮影に失敗する可能性のある不具合の対応 ・ 二重に重なった画像が撮影されることがある不具合の対応 ・ プレビュー開始・終了を繰り返すとメモリリークする不具合の対応 ・ ドライバが使用する仮想空間の拡張 	1.08
モバイルカメラユーティリティパッチ 1.01 ※1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動画撮影時のタイマーが 59 分 59 秒以降更新されない問題に対応 ・ 動画エンコード画面の OK ボタンを押下後、カメラ機能が使用不可になる問題に対応 	1.00
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初期立ち上げ時、ファイルを保存しようとするとエラーとなる対応 ・ 動画撮影時間を最大99時間まで可能にした。 	1.01
NFC ドライバ 1.06	<ul style="list-style-type: none"> ・ USBで大容量のデータを転送する等でCPUが高負荷になったときに、NFCのポーリングが失敗することがある問題に対応。 ・ 起動時、「起動中」と表示したまま立ち上がらないことがある問題に対応。 	1.06
EEPROM ドライバ 1.10	<ul style="list-style-type: none"> ・ NFC の将来的なチューニングに対応するための設定を追加 	1.10
LAN クレードルドライバ 1.10	<ul style="list-style-type: none"> ・ LANクレードルでDT-5300を素早く抜き差ししたときに通信できなくなる問題に対応。 ・ フロー制御を行わないようにした。LANクレードルから電源オン状態のDT-5300を取り外したときに、同じハブに接続されているネットワーク機器が使用できなくなることがある問題に対応。 	1.10
システムライブラリパッチ 1.05	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大容量のファイルを書き込んだ直後にリセット処理を行うとファイルが化けることがある問題に対応 ・ SysCheckIOBox 関数を呼び続けると、ロックすることがある問題に対応。 	1.04
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電源オフ/オン後無線 LAN の電源 ON/OFF できなくなる問題に対応 	1.05
SD カードドライバ 1.01	<ul style="list-style-type: none"> ・ SD カードアクセス中の抜きでカードが認識しなくなることの対応 	1.01
モジュール更新ツール 2.11	<ul style="list-style-type: none"> ・ モジュール更新ツール用にメモリサイズを変更しないように修正 ・ モジュール更新時に CAB を展開できない問題に対応 	2.10
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50 件以上の更新を行ったときのエラー表示対応 	2.11
レジストリ	<ul style="list-style-type: none"> ・ フルリセット時、時刻設定画面を開いて OK にしないと、地域設定が日本語版であるにもかかわらず内部的に太平洋 米国のままになっている問題対応 	
バックアップリストア 1.01 ※2	<ul style="list-style-type: none"> ・ CAB をインストールした状態でバックアップ/リストアを行うと、“スタート”→“設定”→“システム”→“プログラムの削除”のインストール情報が復元されていない問題に対応。 	1.01
BCFilter 1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電源オフ要因がないにも関わらず、電源オフする場合がある問題に対応 	1.00
Bluetooth ライブラリ 1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bluetooth ライブラリのリリース 	1.00
Bluetooth 電源ドライバパッチ 1.03	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「USBClientDT5300WMJ.110.CAB」と「USBHostDT5300WMJ.110.CAB」双方が適用されていて、無線 LAN が OFF 状態の場合、本体電源 OFF/ON すると、Bluetooth 電源が OFF になることがある問題点を修正。 ・ カメラと Bluetooth 電源が ON の状態で本体電源 OFF/ON すると、Bluetooth 電源が OFF になる問題点を修正。 	1.02
	<ul style="list-style-type: none"> ・ パワーハンドラ内で Sleep 関数を使用していたため、電源 ON 処理又は OFF 処理でロックする可能性があった問題対応。 	1.03

チェックアラームパッチ 1.01	・アラーム起動後 1 分間 Key or Touch の入力がない時は AP0 するように対応 (AP0 無効としていた場合、アラーム起動で電源 OFF せず電池消耗する問題の対応)	1.00
	・チェックアラームパッチ 1.00 をインストールすると、アラーム起動後に擬似 OFF された場合、APO しなくなる問題の対応	1.01
コモンコントロールパッチ 1.00	・ツリーダイアログでイベントが発生しないことに対する対応	1.00
DeIBlink パッチ 1.00	・電源オフ時に LED が 10 秒点滅した後に OFF する事に対する対応。	1.00
JPEG ライブラリ 1.00	・IMGGetThumbnail 関数でメモリリークする不具合の対応	1.00
キードライバパッチ 1.02	・トリガーキーにユーザー定義を設定したあとリセットすると定義が無効になる問題に対応。 ・システムライブラリでキーロック関数を呼び出した後 OFF/ON すると起動しなくなる問題に対応。	1.02
MoLogSys パッチ 1.01	・ログファイルに記録されている日付が 1 日～3 日ずれている問題に対応	1.01
PMC ドライバ 1.02	・データ書き込み直後のソフトリセットで、バッファ吐出しが完了する前にリセット発生してしまう問題対応	1.02
SD ドライバ 1.01	・SD カードアクセス中の抜きでカードが認識しなくなるものの対応	1.01
SDHCReg パッチ 1.00	・バックアップ／リストアを行うと、SD1 と SD2 の Class が入れ替わり、メディアセキュリティが認識できなくなってしまう問題対応。	1.00
テキストエディタ 1.00	・拡張子が以下のファイルをテキストエディタに関連づけました。 .txt / .ini	1.00
USB Client 1.30	・本体 Reset 後の ActiveSync 接続が行われない場合がある問題に対応しました。	1.10
	・USB Client パッチ v1.10 がインストールされていると電源 ON 時の起動時間が遅くなる問題の対応	1.20
	・クレードルに乗せた状態でリセットすると ActiveSync 接続できない問題の対応	1.30
	・立ち上げ時 3 秒の遅れが発生することの対応。 ・アクティブシンクが切れる対応。	
USB Host 1.10	・クレードル接点 (VBUS) への電源供給が初期状態で出力し続けることに対応 ・激しいクレードルの抜き差しで端末がロックすることに対する対応	1.10
USB Switch 1.10	・LAN クレードルに乗せた状態でリセットすると LAN ポートが使用できない問題の対応	1.10
無線 LAN パッチ 1.10	・PING 中の圏外圏内で再接続しない問題対応 ・運用中に無線通信ができなくなり、電源設定が外れることがある問題対応 ・無線圏外から圏内に戻ったときに、再接続できない問題	1.03
	・電源 ON/OFF 時、再接続できないことがある問題 ・OAC サプリカントソフトが動作しない問題 ・電波強度の読み出しを繰り返すと再接続できなくなる問題の対応	1.10
無線 LAN 設定ツール 1.06	・EAP-PEAP、EAP-TLS 時にユーザー名、パスワードを自動入力する機能 ・証明書ファイルのインポート機能 ・802.1x 認証時、圏外から復帰時に認証に失敗する不具合対応	1.02
	・異機種間でのソフト共通化対応	1.06
時刻設定パッチ	・フルリセット時、時刻設定画面を開いて OK にしないと、地域設定が日本語版であるにもかかわらず内部的に太平洋 米国のままになっている問題対応	
バックライトドライバ 1.03	・ソフトリセットを行うとバックライト制御の設定内容に関わらず、ABO が指定通りの時間で動作しなくなる問題の対応	1.03
デバイス制御ライブラリ 2.07	・基本開発キット Ver2.07 の登録モジュールを追加 BluetoothLib.dll CameraLib.dll FLINKLib.dll ImagerLib.dll JpegCe.dll NFCLib.dll OBReadLib.dll SystemLib.dll	

- ※1: 本サービスパック適用後、「画像とビデオ」→「カメラ」をタップし、モバイルカメラを起動すると、プレビュー画面上にある [フォルダ選択] ボタンに実存しない「My Pictures」が設定されている場合があります。
この状態で静止画撮影または動画撮影を実行すると、エラーメッセージボックスが表示されます。
「My Pictures」が設定されている場合は [フォルダ選択] ボタンで任意のフォルダを一度選択して下さい。
- ※2: 本サービスパックにてバックアップツールのアップデートを行っています。
従来のバックアップデータとの互換がないため、サービスパックをインストール後、再度バックアップ
又は自動復旧設定からバックアップデータを作り直してください。
- ※ **赤字**はサービスパック 1.02 での対応内容です。黒字はサービスパック 1.01 での対応内容です。

3. インストールについて

サービスパックとして提供している CAB ファイルは、インストール後に消去されます。消去しないようにするには、属性を読み取り専用に設定してからインストールして下さい。

下記にインストール方法を示しますので、お客様の環境に適したインストール方法を選択して下さい。

3-1.データの入手

サービスパックのデータは、弊社サポートページにて提供しております。

<http://casio.jp/support/ht/> より、【software ダウンロード】→【DT-5300 Windows Mobile Classic】→【サービスパック】

からデータのダウンロードが可能です。

データは、ZIP 形式で圧縮されていますので、PC にダウンロードした後、お手持ちの圧縮解凍ツールで解凍して下さい。

圧縮ファイル『DT5300WMC_SP102.zip』は、フォルダ階層ごと圧縮されています。

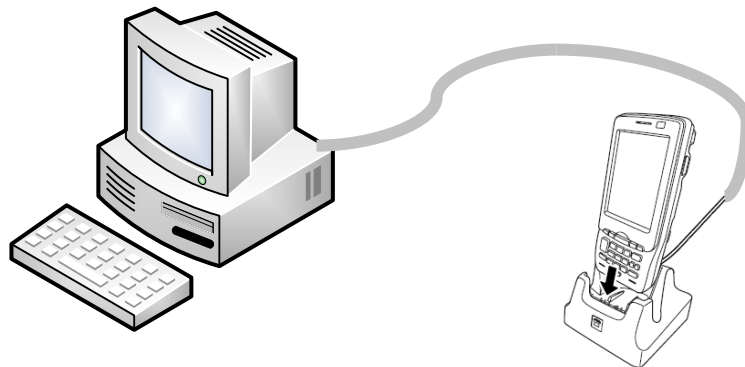
下記のフォルダ構成で解凍されていない場合には、ご使用の解凍ソフトの設定を見直してください。

```
├readme.txt
├DATA
│   ├──CE
│   │   └──ARM
│   │       ├──DeleteCab.ini
│   │       ├──ServicePackDT5300WMCLJ.102.CAB
│   │       └──Setup.exe
├DOC
│   └──DT5300WMC_SP102.pdf
```

3-2.インストール方法

パターン① PC と接続してダウンロードする場合

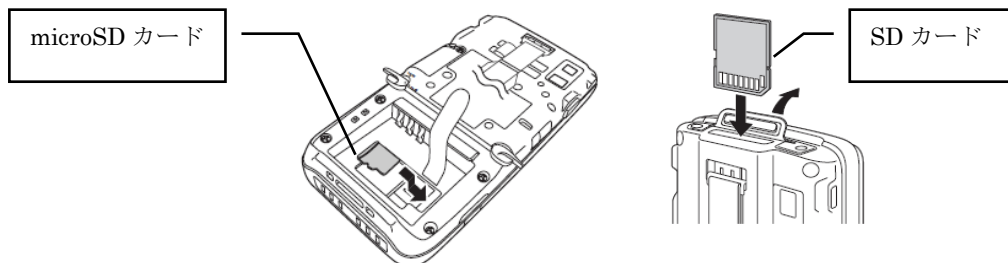
PC と DT-5300 をクレードルで接続します。(PC 側の通信ソフトは ActiveSync もしくは LMWIN を使用します。LMWIN に対しては、DT-5300 側は“スタート”→“FLCE”を使用します。) ActiveSync の詳しい操作方法是ファーストステップガイドを、LMWIN の詳しい操作方法是、LMWIN 付属のマニュアルをご参照ください。



LMWIN もしくは ActiveSync を用いて DT-5300 の【FlashDisk】フォルダに解凍したデータの【CE】フォルダをコピーしてください。

パターン② microSD カードを利用してダウンロードする場合（モデルにより SD カード）

- ・ PC を使用し、microSD カードに解凍したデータの【DATA】フォルダをコピーしてください。
- ・ microSD カードを DT-5300 にセットします。



- ・ DT-5300 のエクスプローラを使用して microSD カード上の【DATA】フォルダを開きます。【CE】フォルダを選択し、DT-5300 の【FlashDisk】にコピーしてください。
- ・ DT-5300 から microSD カードを抜いてください。

コピーしたデータの確認

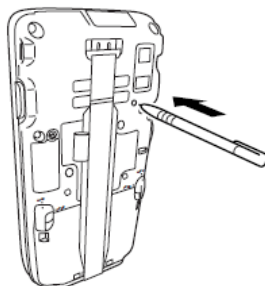
パターン①、パターン②いずれの場合でも、下記の通り【FlashDisk】にフォルダ・データが追加されます。

```
CE
├── ARM
│   ├── DeleteCab.ini
│   ├── ServicePackDT5300WMCLJ.102.CAB
│   └── Setup.exe
```

3-3. インストールの実行

コピーの確認が終了しましたら、本体裏のリセットボタンを押して下さい。
再起動後、自動的にインストールが行われます。

“インストールが成功しました。5秒後にデバイスは自動的にリセットされます。”
のメッセージが出て、自動的にリセットされるまでお待ちください。



3-4. インストールの確認

サービスパックのインストールの有無は、
”スタート”→”設定”→”システム”→”プログラムの削除”
で確認できます。

ここに“CASIO ServicePack 1.02”という表示がある場合、ServicePack が正しくインストールされています。

インストールが完了したら、必ずバックアップを行なってください。

4. インストール時の注意

自動復旧ツールを使用している場合

自動復旧ツールを使用している場合は、バックアップファイルを更新してください。

バックアップファイルを更新するには、

『¥Program Files¥CASIO¥System¥Restore.exe』の実行 または
バックアップツールよりバックアップを実行
の何れかを行います。

microSD カード経由でインストールを行う場合

microSD カードを使用してサービスパックをインストールする場合には、microSD カードの直下に CE フォルダを作成しないで下さい。

microSD カード上に『¥CE¥ARM』フォルダがあり、その中にインストール用のデータを置いたままリセット起動をかけると、microSD カード側のデータでインストールが開始されてしまいます。

サービスパックインストール後のメモリ消費量

サービスパックの適用により従来に比べ RAM、FROM の使用量が下記の通り増加します。従来より DT-5300 をご使用で、サービスパックの未適用で運用している場合には、事前にサービスパック 1.02 でのテスト運用を行ってください。
又、サービスパックの適用の有無が混在しないよう運用する事を推奨いたします。

サービスパックインストール状態	プログラム実行用メモリ (RAM)	データ記憶用メモリ (RootDisk)	FlashDisk
“サービスパック無し”から“Ver1.01”	約 60KB 増加	約 3.0MB 増加	約 4.1MB 増加
“サービスパック無し”から“Ver1.02”	微増	約 5.0MB 増加	約 5.9MB 増加

プログラム実行用メモリは RAM 上に確保されています。プログラムやデータをこのメモリにロードし、実行します。

データ記憶用メモリ(RootDisk)は、FlashDisk フォルダ以外の全てのフォルダとファイルが該当します。この部分は FROM ですので電池切れでもデータは消えません。

FlashDisk も FROM ですので電池切れでもデータは消えません。

データ記憶用メモリ(RootDisk)は DT-5300 以前の機種では RAM 上に確保されていました。互換性を保つために FlashDisk はそのまま残しています。

5. ご注意

- ・ **従来よりDT-5300 をご使用で、サービスパック未適用で運用されている場合**

事前に十分なテストを行った上でサービスパック 1.02 をご利用頂けるようお願い致します。
サービスパックの適用の有無が混在しないようご配慮をお願い致します。

※カシオでは、サービスパック 1.02 をインストールした状態で運用頂く事を推奨いたします。

※サービスパックをご使用にならない場合には、ご使用になるソフトウェアをインストールする前に、FlashDisk¥CE¥ARM フォルダの『ServicePackDT5300WMCLJ.102.CAB』を削除の後フルリセットをかけてください。

カシオ計算機お問い合わせ窓口

※平成 23 年 11 月現在

製品に関する最新情報

●法人向け製品サイト

<http://casio.jp/ht/>

●カシオ製品サポートサイト

<http://casio.jp/support/ht/>

製品の取扱い方法のお問い合わせ

●情報機器コールセンター



0570-022066

市内通話料金でOK
ナビダイヤル

市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話・PHS 等をご利用の場合、**048-233-7241**

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

TEL 03-5334-4638(代)